

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-97	高等学校	公民	政治経済	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6教図	政経006-901	政治・経済		

1. 編修の基本方針

学習を通じて、政治経済の諸課題についての基本的な知識とともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指した。問題を分析する力、多様な意見を理解する力、論理的に考える力、解決策を提案する力を養うこととくに重点を置いている。

これを達成するために、さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考える「prologue（プロローグ）」を各節の冒頭に設定し、主体的・対話的な授業ができるよう編修している。

具体的には、第二条の教育の目標を達成するため次のように編修した。

- ・幅広い知識と教養を身に付けるため、政治、経済の各分野の基礎的項目を盛り込み、必要な知識を学習できるよう編修した（第1号）。
- ・関連する最新の現代社会における諸課題を「prologue」として設け、生徒の自主、自立的な探求心を高めるための工夫をした（第2号）。
- ・正義、公共の精神を養うため「OPINION」と題した問いをテーマごとに立て、主体的・対話的な議論を授業の中で行えるよう配慮した（第3号）。
- ・環境保護の観点から気候変動問題を大きく取り上げた（第4号）。
- ・他国との共生、平和の尊さについて詳しく記述した（第5号）。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
序章	政治と経済がどのような役割を果たして社会が成立しているか、私たちがそこにどのように関係しているかを概観することを通じて、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度と、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第2号、第3号）。	p.002～008

第1章 現代日本の政治 1節 地方自治と国政 プロローグ 「学校から地域へ、部活動の未来を考える」 1項 地方自治のしくみ 2項 地方自治のこれから 3項 内閣の組織と行政 4項 行政改革 5項 国会のしくみと役割 6項 国会の運営と課題	部活動という身近なテーマを通じて、地方自治について考える構成を取り、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 地方自治を取り扱う中で、さまざまな形で住民の政治参加によって地域社会がつくられていることについて触れ、郷土を愛し、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 日本の内閣と行政を取り扱い、幅広い知識と教養を身に付け、社会の諸課題について深く考えるための手掛かりを得ることができるよう配慮した（第1号）。 国会のしくみについて取り扱い、幅広い知識と教養を身に付け、社会の諸課題について深く考えるための手掛かりを得ることができるよう配慮した（第1号）。	p.013～015 p.016～019 p.020～023 p.024～027
第1章 2節 選挙と政治参加 プロローグ 「選挙は人気投票なのか？ 投票の意味を考える」 1項 戦後の政治と政党 2項 日本の選挙制度 3項 メディアと政治参加	近年の選挙のあり方を通じて、なぜ選挙に行くのか、だれに投票するのかについて考え、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 日本の戦後政治の歴史、選挙制度の変遷、メディアの役割、選挙以外の政治参加の手段などを取り扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	p.029～031 p.032～037
第1章 3節 日本国憲法と人権 プロローグ「ブラック校則は人権侵害か？」 1項 日本国憲法の基本原理 2項 個人の尊重と平等権 3項 自由権 4項 社会権と参政権 5項 新しい人権と公共の福祉 6項 司法権と裁判の役割	校則と人権との関係について考え、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神を養うことができるよう配慮した（第3号）。 正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んずる公共の精神を育むため、日本国憲法の原理に基づき、立憲主義、平等、自由、義務、公共の福祉などについて丁寧に記述した（第3号）。 司法のしくみ、違憲審査権、裁判員裁判などを取り扱う中で、正義と責任を重んずる態度を養えるよう配慮した（第3号）。	p.039～041 p.042～051 p.052～053
第1章 4節 民主政治とはなにか？ プロローグ 「くじ引き民主主義の可能性を考える」 1項 民主政治の歴史と原理 2項 法の支配と立憲主義 3項 世界の政治体制	くじ引き民主主義を考えることを通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 社会契約説や民主政治の歴史を取り扱う中で、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した（第1号）。 さまざまな国の政治体制を取り扱う中で、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	p.055～057 p.058～061 p.062～063
第2章 現代日本の経済 1節 経済とはなにか？ プロローグ 「大谷翔平の年俸100億円は高すぎる？」 1項 市場とはなにか 2項 資本主義の歴史と変容 3項 市場経済の限界	メジャーリーガーとエッセンシャルワーカーの賃金を比較することを通じて、市場における価値と価格について幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう工夫した（第1号）。 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、経済活動の意義と経済思想の変遷、市場の失敗などを記述した（第1号）。	p.069～071 p.072～077

第2章 2節 金融のしくみと企業 プロローグ「奨学金の金利はどう決めるべきか？」 1項 金融のしくみ 2項 企業の役割と責任	奨学金の金利のしくみを通じて、金融についての幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう工夫した（第1号）。	p.079～081
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、金融のしくみ、企業のしくみや役割などを記述した（第1号）。	p.082～085
第2章 3節 労働市場 プロローグ「女性の賃金はなぜ低いのか？」 1項 労働市場と労働組合 2項 日本の雇用問題	男女の賃金差の原因と対策を考えることで、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養い、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号、第3号）。	p.087～089
	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう、労働法制、労働組合、雇用問題などを記述した（第2号、第3号）。	p.090～093
第2章 4節 国民経済と経済成長 プロローグ「日本の経済成長を考える」 1項 GDPと経済成長 2項 景気循環と物価変動	日本の経済停滞の原因と対策について掘り下げることを通じて、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第3号）。	p.095～097
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう、経済成長の原理やさまざまな指標、政策について記述した（第1号）。	p.098～101
第2章 5節 財政金融政策 プロローグ「慢性デフレとアベノミクス」 1項 財政と予算 2項 租税と財政健全化 3項 日銀と金融政策 4項 金融の自由化とデジタル化	デフレの原因と、デフレ脱却を目指したアベノミクスの政策について掘り下げることを通じて、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第3号）。	p.103～105
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう、財政政策による税収や公共支出の管理、国債の発行、財政再建の取り組み、金融政策を通じた金利調整や貨幣供給の影響について記述した（第1号、第3号）。	p.106～113
第2章 6節 税と社会保障 プロローグ「『親ガチャ』問題をどう解決するか？」 1項 社会保障の理念と制度 2項 少子高齢化と福祉社会	教育の格差問題を取り扱うことを通じて、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第3号）。	p.115～117
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう、税の役割と社会保障制度の基本的な枠組みについて記述した（第1号、第3号）。	p.118～121
第2章 7節 日本経済の今と、これから プロローグ 「経済成長とウェルビーイングをどう両立させるか？」 1項 戦後経済の歴史 2項 21世紀の日本経済 3項 中小企業と農業 4項 公害・環境・消費者問題	ウェルビーイング指数とGDPを比較して、豊かさとはなにかを考え、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第3号）。	p.123～125
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう、農業の将来、中小企業の生存戦略、消費者の権利、気候変動への対策など日本経済が直面している課題について記述した（第1号）。	p.126～133

第3章 グローバル化する国際社会 1節 国際政治と国際社会 プロローグ「国際社会の犯罪者を裁くのはだれか？」 1項 国際社会と国際法 2項 国際連合 3項 冷戦とその後の世界情勢 4項 世界の紛争と軍縮	国内法と国際法を比較しながら、国際社会のしくみを理解することを通じて、幅広い知識と教養を身に付け、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第5号）。 幅広い知識と教養を身に付け、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう、国家間の法的枠組み、国際連合の役割、歴史的な政治変動が現代の国際社会にどのように影響を与えているかについて記述した（第1号、第5号）。	p.141～143 p.144～151
第3章 2節 国際情勢と日本の安全保障 プロローグ「日本は世界の核軍縮をどう進めていくべきか？」 1項 平和主義と日米安全保障 2項 日本の領土と外交政策	日本の核軍縮における方針、防衛費についての政策を取り上げることで、正義と責任を重んじ、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号、第5号）。 憲法の平和主義、自衛隊の役割、日米安全保障条約の重要性、世界の紛争と軍縮に関する課題など、幅広い知識と教養を身に付け、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第5号）。	p.153～155 p.156～159
第3章 3節 国際経済 プロローグ 「気候変動問題のジレンマをどう解決するか？」 1項 貿易と為替 2項 国際経済の変遷と地域統合の動向 3項 南北問題と新興国の成長 4項 地球環境とエネルギー問題	ゲーム理論を用いて気候変動問題のジレンマを考えることを通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。 貿易、投資、為替、地球環境への負荷など、経済活動のグローバルな側面についての幅広い知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第1号、第3号）。	p.161～163 p.164～171
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
教育基本法第1条（教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない）の理念に即し、政治と経済における最新の話題、課題を豊富に取り上げ、それらについて生徒が主体的に思考し、また対話や議論を行えるよう特に配慮した。		

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-97	高等学校	公民	政治経済	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
06教図	政経006-901	政治・経済		

1. 編修上特に注意を用いた点や特色

「政治・経済」は、高校生が社会に出る直前に位置づけられた科目であるため、実社会で直面する可能性のある複雑な問題に対して、批判的かつ創造的に考える力を身に付けられるよう、以下の点に留意した。

- ・本文、注ともに重要語句を強調し、そのすべてにルビを振った。
- ・漫画やイラストなどを適宜入れ、学習意欲を高められるよう工夫した。
- ・各テーマの末尾に「OPINION」という問いを立て、主体的・対話的な深い学びができるよう配慮した。
- ・序章では私たちの社会構造を築く基本的な事実を紹介し、政治と経済の関係性や、両者がいかに繋がっているかを理解できるよう留意した。
- ・第1章、第2章、第3章を通じて各節の冒頭に「prologue（プロローグ）」として特定のテーマを取り上げた。時事的な事例、生徒の実生活に直結する話題を多く盛り込み、学習内容への興味を引き出し、積極的に学ぶ姿勢を育むことができるよう工夫した。
- ・第1章では出発点として「地方自治」を取り上げ、政治が私たちの日常生活とどのように深く結びついているかを整理し、主体的な政治参加が社会を改善する可能性をもっていることを強調した。
- ・第2章ではさまざまなページにわたって需給グラフを用い、労働、金融、売買といった経済活動を支える市場メカニズムへの理解を促す工夫を施した。
- ・第3章では、日本の平和主義、安全保障政策を国際社会の中に位置付ける構成をとり、国際的な文脈での日本の役割や立場を多面的に考察できるよう工夫した。
- ・各章末には「探究」ページを設け、社会課題に対して調査分析し、解決策をみずから提案する力を育むことができるよう工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
序章	A (1) (2)	p.002～008	1
第1章 現代日本の政治			18
1節 地方自治と国政	A (1) ア (ア) (ウ)	p.011～027	
2節 選挙と政治参加	A (1) イ (ア) (ウ)	p.028～037	
3節 日本国憲法と人権	A (1) ア (ア) (ウ)、イ (ア)	p.038～053	
4節 民主政治とはなにか？	A (1) ア (ア) (ウ)、イ (ア) (イ)	p.054～063	

探究学習①	A (2)	p.064	1
第2章 現代日本の経済			
1節 経済とはなにか？	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (エ)	p.068～077	30
2節 金融のしくみと企業	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (エ)	p.078～085	
3節 労働市場	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (ウ)	p.086～093	
4節 国民経済と経済成長	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (エ)	p.094～101	
5節 財政金融政策	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (エ)	p.102～113	
6節 税と社会保障	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (ウ)	p.114～121	
7節 日本経済の今と、これから	A (1) ア (イ) (ウ)、イ (ウ) (エ)	p.122～133	
探究学習②③④⑤⑥	A (2)	p.134～138	3
第3章 グローバル化する国際社会			
1節 国際政治と国際社会	B (1) ア (ア) (ウ)、イ (ア)	p.140～151	14
2節 国際情勢と日本の安全保障	B (1) ア (ア) (ウ)、イ (イ)	p.152～159	
3節 国際経済	B (1) ア (イ) (ウ)、イ (ウ) (エ)	p.160～171	
探究学習⑦⑧⑨⑩	B (2)	p.172～175	3
参考資料	A (1) (2)、B (1) (2)		
		計	70